## 山岳部における利用のあり方検討状況について

環境省九州地方環境事務所

## 1. 平成 29 年度開催結果概要 ※昨年度第 2 回委員会で報告済

国立公園・世界遺産の山岳部の自然環境を適切に保全し、山岳部利用者には屋久島らしい質の高い自然体験を提供することを目指して、適正利用のビジョンを定め、利用ゾーニングに基づく施設の整備や利用者管理方策、サービス等を検討するための「屋久島世界自然遺産・国立公園の山岳部における利用のあり方検討会」を H28 に設置。

平成29年度は検討会を4回開催、現地踏査を3ルート実施し、平成28年度整理した「ビジョン検討にあたっての主な論点」について議論しながら「屋久島世界自然遺産・国立公園の山岳部適正利用ビジョン(素案)」をとりまとめた。

## (1)参加者 五十音順。敬称略

【検討委員】 柴崎茂光(国立歴史民俗博物館准教授)

土屋俊幸(東京農工大学大学院教授) ※座長

吉田正人 (筑波大学大学院教授)

【関係機関】 林野庁九州森林管理局

鹿児島県

鹿児島県教育委員会

屋久島警察署(欠)

屋久島町

公益財団法人屋久島環境文化財団

屋久島町議会

屋久島町区長連絡協議会

公益社団法人屋久島観光協会

屋久島山岳ガイド連盟

屋久島レクリエーションの森保護管理協議会

宮之浦岳岳参り伝承会

環境省九州地方環境事務所

【オブザーバー】 屋久島世界遺産科学委員会委員

## 2. 平成30年度の取組

今年度は「屋久島世界自然遺産・国立公園の山岳部における利用のあり方検討会」を4回 開催予定。前年度のビジョン案を決定するとともに、そのビジョンを念頭に、主に適正利用 のためのゾーン設定、ゾーンごとの管理目標・方針を検討予定。

第1回:7月31日(月)午前 検討会 第2回:10月9日(火)午前 検討会 第3回:11月12日(火)午前 検討会 第4回:1月14日(月祝)午前 検討会

【世界自然遺産・国立公園における山岳部の適正利用のビジョン(仮称)の骨子イメージ】 (平成28年度世界自然遺産・国立公園における山岳部利用のあり方検討調査等業務報告書より)に進捗状況等を加筆

- 1. 作成目的
  - 2. 背景
  - (1)屋久島(山岳部)の特徴と価値
  - (2) 屋久島の歴史と社会の変遷
  - (3) 屋久島山岳部の保護と利用の状況
  - (4) 屋久島山岳部の保護と適正利用に関する取り組み経緯
  - (5)屋久島山岳部の保護と適正利用の課題
  - (6) その他
- 3. 対象区域
- 4. 基本理念と基本方針

※理念、目指す姿(目標)と目標実現のための方針

- 5. 適正利用のためのゾーニング
- 6. ゾーンごとの(管理)目標・方針
- 7. 施設の整備と維持管理
- (1) 施設の整備

※整備の方針や内容、施設整備水準の設定

(2) 施設の維持管理

※維持管理の方針・方策

- 8. 利用者管理とサービスの提供
- (1)利用者管理

※例:利用コントロール、ルールなど

(2) サービスの提供

※例:情報提供方策など

9. その他

※モニタリング項目・基準、管理体制など

H28 年度記載 (随時 精査修正追記)

> H30 年度~ ゾーニング等検討の中で 合わせて議論

H29 年度 概ね合意済 H30 年度 早い段階で決定・記載 (その後も随時精査修正追記は行う)

H30 年度 検討·記載予定 (随時 精査修正追記)

H31~32 年度 記載予定 (随時 精査修正追記)